

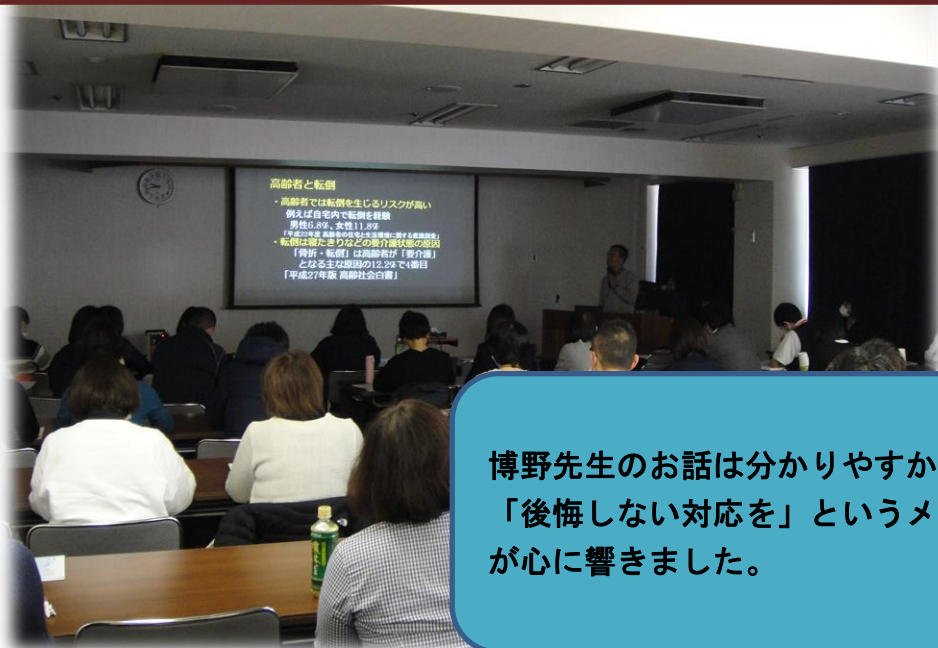
令和元年度 第3回 神経・筋疾患ケアセミナー 「神経難病における認知症状と転倒リスク」

令和元年2月8日（土） 第3回神経・筋疾患ケアセミナーが開催されました。今回のテーマは「神経難病における認知症状と転倒リスク」で、各施設の医師、看護師、ケアマネジャー、介護職、理学療法士、作業療法士等を対象に、神経難病における認知症状の病態生理・治療について理解し、在宅における転倒予防に繋げるという目的で開催しました。

当院で、もの忘れ外来を担当している神戸学院大学の心理学部教授の医師より「神経難病における認知症と転倒リスク」について、次に、当院薬剤師より「認知症に対する薬物療法の注意点」について、続いて、豊中市で認知症患者に対する医療介護に携わっている豊中市認知症初期集中支援チーム（通称：とよなかオレンジチーム）より「転倒転落予防のための在宅支援の実際」について、3つのテーマで講義を行いました。当日は、34名の参加者があり、「様々な職種の先生方からの講義が聞けて参考になった」「認知症について専門的なお話から身近なお話まで幅広く分かりやすく、有意義になったなど、今後の在宅ケアにおいて活かしていきたいという声が聞かれました。

神戸学院大学 心理学部 教授 博野信次医師の講義内容

「神経難病における認知症と転倒リスク」について



博野先生のお話は分かりやすかったです。
「後悔しない対応を」というメッセージ
が心に響きました。

当院 薬剤師 山本修平先生の講義内容

「認知症に対する薬物療法の注意点」について



服部地域包括支援センター とよなかオレンジチームの講義内容

「神経難病における認知症状患者に対する転倒転落予防のための

在宅支援の実際」について





看護師からは、認知症と転倒転落について、アセスメントとケアが大切であることの講義がありました。



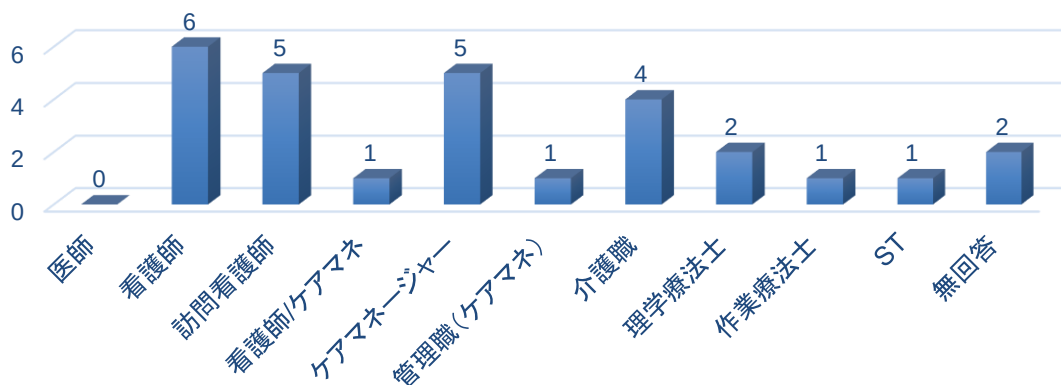
作業療法士からは、病棟内での取り組みや自宅でできる転倒予防についての講義がありました。



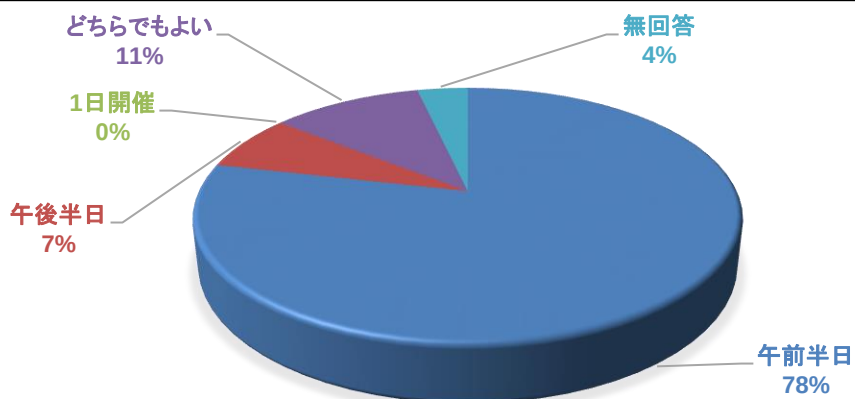
社会福祉士からは、社会資源や環境調整などについて講義がありました。

研修終了後のアンケート結果 アンケート回収者 28 名(参加者 34 名)

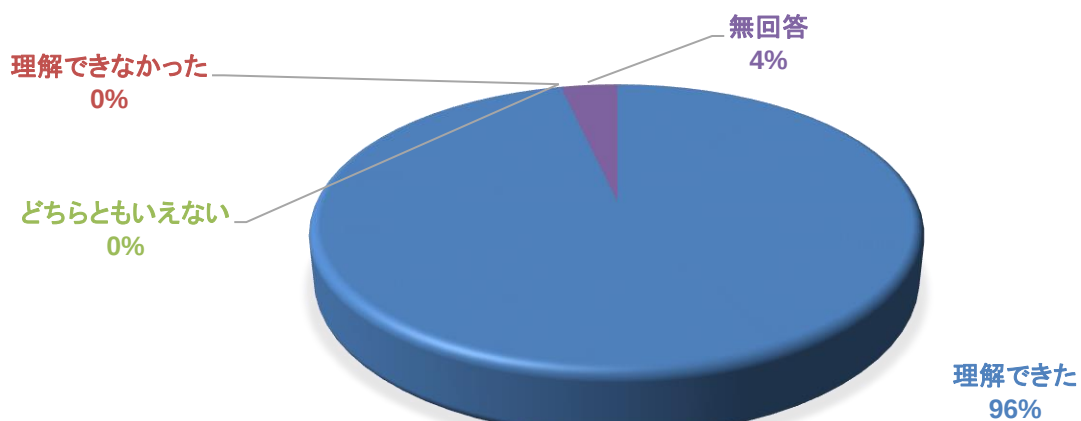
1. 参加者の職種について



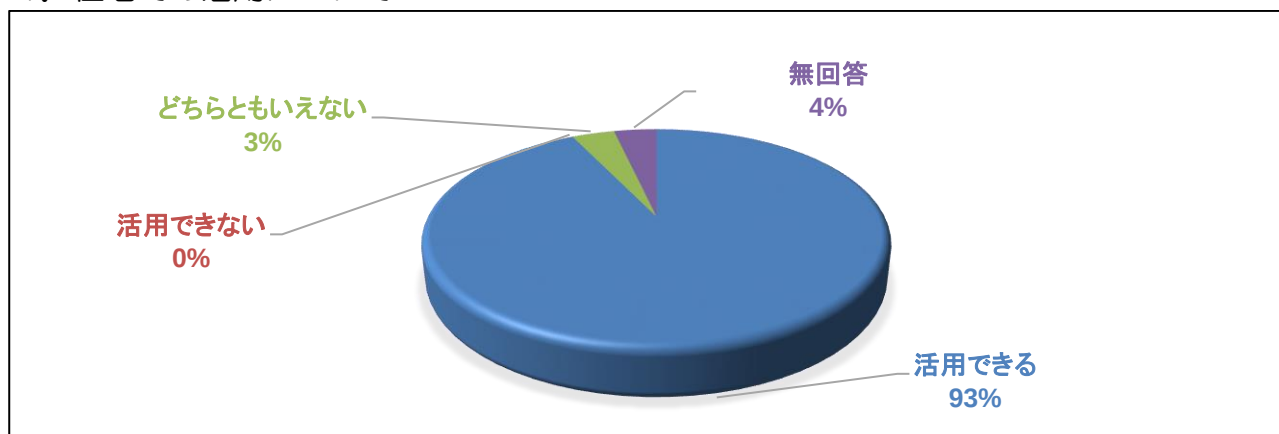
2. 今後の開催時間について



3. 講義内容について



4. 在宅での活用について



5. その他、ご意見、ご感想

- ・博野先生のお話は分かりやすかったです。事業所内で共有していきます。とても役にたちました。ありがとうございました。
- ・神経難病の転倒転落リスクについて、限定された内容でよかったです。
- ・進行性核上性麻痺の方に関わることが多く、「病識がない」ということが確認でき、家族への指導に繋がっていかれたらと思う。
- ・薬物の分類・注意点など理解できた。薬物療法について、もう少し詳しく聞きたかった。
- ・オレンジチームの役割、活動を聞き、是非認知症という診断はないが対応に難渋している利用者様と相談してみたいと思います。
- ・転倒により骨折、寝たきりになった家族がいました。具体的な関わりを医師、薬剤師、看護師、作業療法士、社会福祉士の方から学ぶことができました。原因を考え今後に生かしていきたいと思います。
- ・様々な職種の先生方からの講義が聞けて参考になりました。色々な視点での内容で良かったです。

など、たくさんの意見や感想をいただきました。

今回の講習会において学んだことが、今後の臨床場面や在宅ケアにおいて活用できるようになれば幸いです。皆さまからいただいたご意見をもとに、今後の神経筋疾患セミナーの内容についても、企画運営していきたいと思っています。ありがとうございました。

大阪刀根山医療センター神経内科医師・看護師・他スタッフ一同

